



commons
asset management, inc.

2016年2月

とうしん はじめて

BOOK



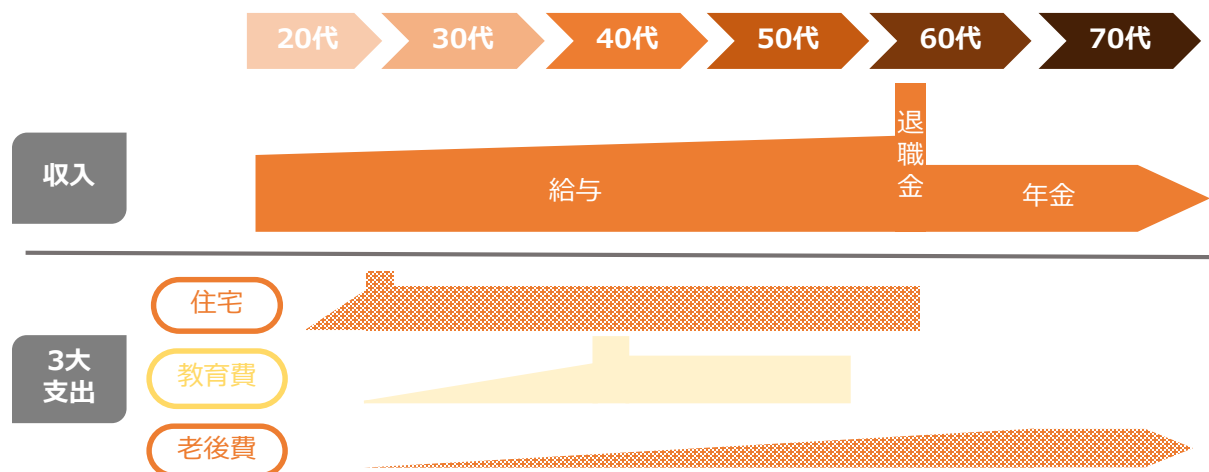
コモンズ"投信 株式会社

○ 人生にかかるお金をイメージしてみましょう

人生にかかるお金をイメージしてみましょう。

人生における3大支出は「住宅・教育・老後」であると言われています。住宅に関しては、3千万～5千万円程度、老後に関しては、7千万円～1億円以上も必要といわれています。ただし、老後費のうち自助努力で貯めておく必要がある金額は3～4千万円程度です。

■ 人生にかかるお金



住宅

2013年度	全国平均	東京平均
注文住宅の建設費	3,015万円	3,642万円
土地つき注文住宅の所要資金	3,637万円	5,282万円
マンション購入価格	3,862万円	4,613万円

(出所) 住宅金融支援機構『2013年度フラット35利用者調査報告』よりコモンズ投信作成

老後費

2013年度	最低限の生活	ゆとりのある生活費
全国平均	月額22.0万円 (6,600万円)	月額35.4万円 (10,620万円)
大都市平均	月額23.1万円 (6,930万円)	月額36.1万円 (10,830万円)

(出所) 金融広報中央委員会よりコモンズ投信作成

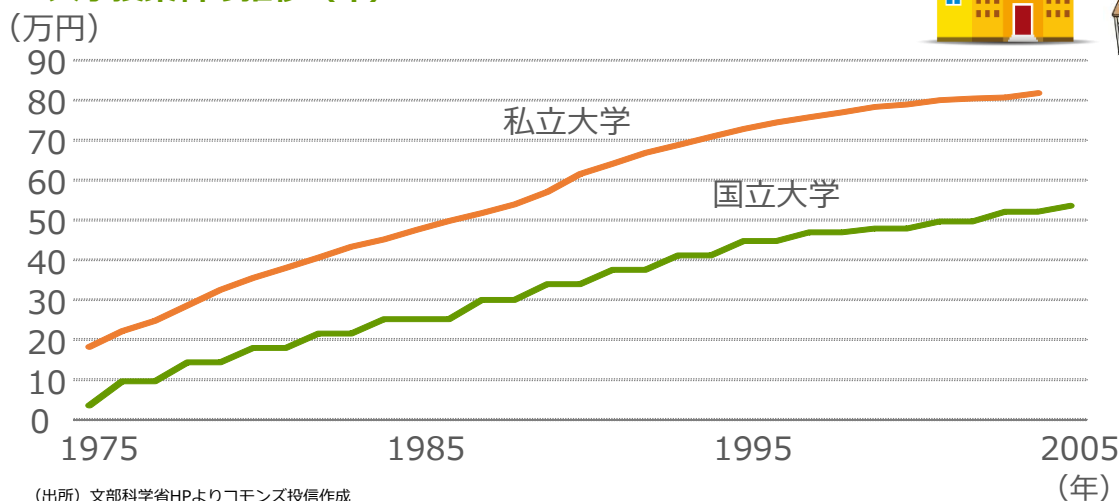
(注) データは、ご夫婦お2人で生活した場合の値。()内は、60歳以降、25年間の合計額

こどもの教育にかかるお金

次に、教育費についても見ていきましょう。

大学の授業料は年々増加しています。1975年から30年で約4倍になりました。この間、世の中のモノの値段の変化を表す消費者物価指数の伸びが2倍にとどまっていることを考えても、大学授業料の伸びの大きさが目立ちますし、デフレが定着した2000年代以降も上昇を続けています。

■大学授業料の推移（年）



一方、下の表で、幼稚園から高校までの教育費の内訳を見ると、大半が高校以降、特に大学費用が大きいことがわかります。大学までの計画的な資産作りが肝といえそうです。

■教育費の総額

	学習費等（※1）総額					合計
	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学（※2）	
すべて 公立	66.9万円	185.4万円	144.3万円	154.6万円	392.0万円	942.5万円
すべて 私立	162.5万円	836.2万円	370.9万円	292.9万円	623.9万円	2286.6万円

（注1）幼稚園～高等学校の教育費は文部科学省「平成20年度子どもの学習費調査結果」に基づいて作成（単位：円）

（注2）大学の教育費については独立行政法人日本学生支援機構「平成20年度学生生活調査報告」に基づいて作成

※1「学習費等」には授業料などの学校教育費や学校給食費、学校外活動費が含まれる

※2家庭から学生への給付額を使用

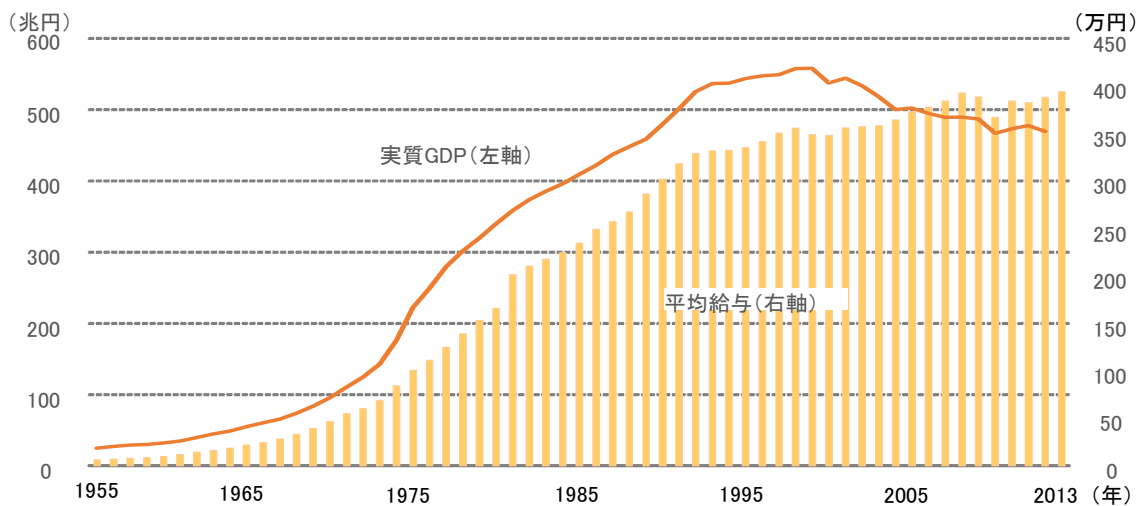
（出所）文部科学省HPよりコモンズ投稿作成

日本の経済規模と給与の推移

ここで今私たちがおかれている状況、日本の経済規模と給与の推移をおさらいしておきましょう。

戦後、経済規模の成長と共に給与は右肩上がりでしたが、経済成長が鈍化した1995年以降は給与も伸び悩みが続いています。

■ 実質GDP実額と平均給与の推移（1955年～2013年）



（出所）平均給与：国税庁民間給与実態統計調査結果、GDP：内閣府経済社会総合研究所よりコモンズ投信作成

一方、反比例するように、金利は下がり続けており、給与が伸び悩む中、預金などから得られる金利収入も期待できない状況が続いています。

■ 国債金利の推移（1年もの）



（出所）財務省よりコモンズ投信作成

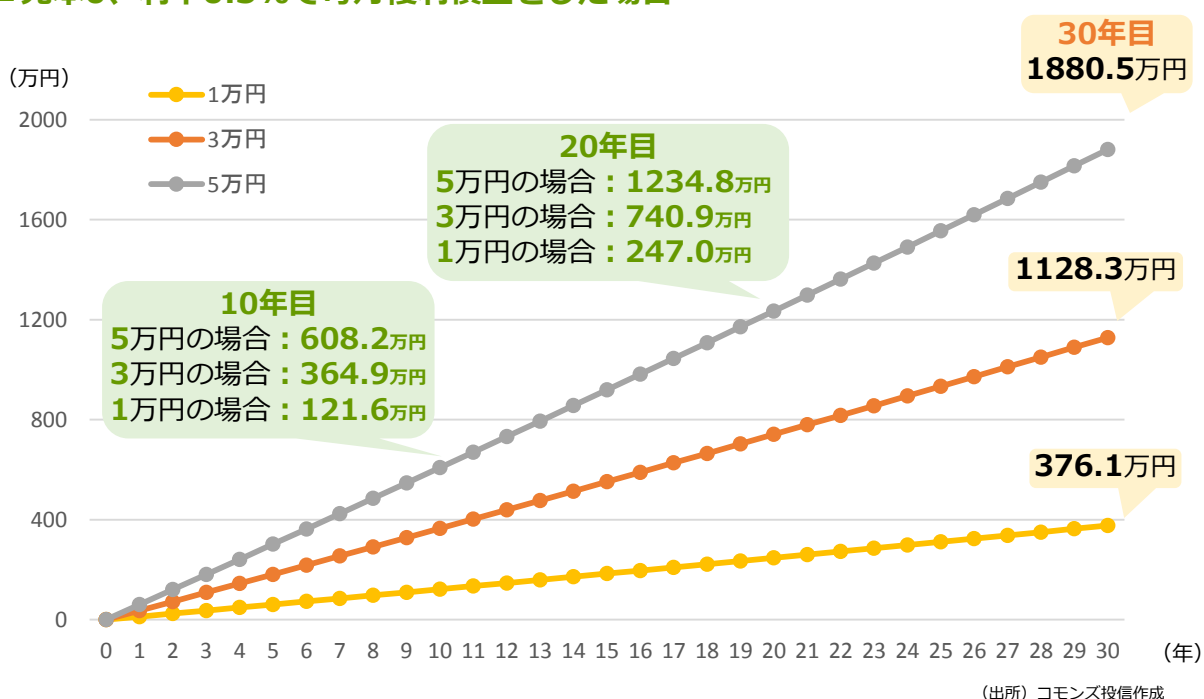
○ 計画的な資産作りが大切です

ここまで読み進めてきて、いかがでしょうか。人生にはやっぱり結構お金がかかる一方で、収入源が限られていることがわかりますね。

下のグラフは、毎月一定額を積み立て、0.3%で複利運用をした場合のシュミレーションです。銀行預金のイメージですが、0円からのスタートで、わずかな金利でも、時間の効果で着実に資産を作ることができます。

今貯金(預金)をしていない人は、まずは貯金(預金)から始めましょう。

■ 元本0、利率0.3%で毎月複利積立をした場合



用語解説

複利運用とは、元金(がんきん)によって生じた利子を次期の元金に組み入れる運用方法で、元金だけでなく利子にも次期の利子がついていきます。したがって、各期の利子が次第に増加していくことになります。

○ 時間と複利を味方につける

次に、100万円を元手に、それぞれの利率で複利運用した場合をみてみましょう。

下の表によると、3%で10年間複利運用すると1.3倍に、7%で10年間ならば、約2倍になっています。

資産を運用で大きく増やすポイントは、『複利』と『時間』といえます。

いずれにしても、資産作りは地道にコツコツ続けることが第一歩です。

■ 100万円の資金を複利で運用した場合

利率	0.30%	0.50%	1%	3%	5%	7%	10%
元本 (万円)	100	100	100	100	100	100	100
1 (年)	101	101	101	103	105	107	110
2	101	101	102	106	110	114	121
3	102	102	103	109	116	123	133
4	102	103	104	113	122	131	146
5	103	104	105	116	128	140	161
6	103	105	106	119	134	150	177
7	104	105	107	123	141	161	195
8	104	106	108	127	148	172	214
9	105	107	109	130	155	184	236
10	105	108	110	134	163	197	259

(出所) コモンズ投信作成

72の法則

72の法則を知っていますか？複利計算で資産が倍になるまでの年数がわかる法則です。72を利率で割ると2倍になるまでの期間が簡単に計算できます。例えば…

$$72 \div 7\% = 10.285 \cdots \text{年}$$

$$72 \div 5\% = 14.4 \text{年}$$

逆に15年で2倍にしたかったら下のように計算できます。

$$72 \div 15 \text{年} = 4.8\%$$

○ インフレリスクに備える

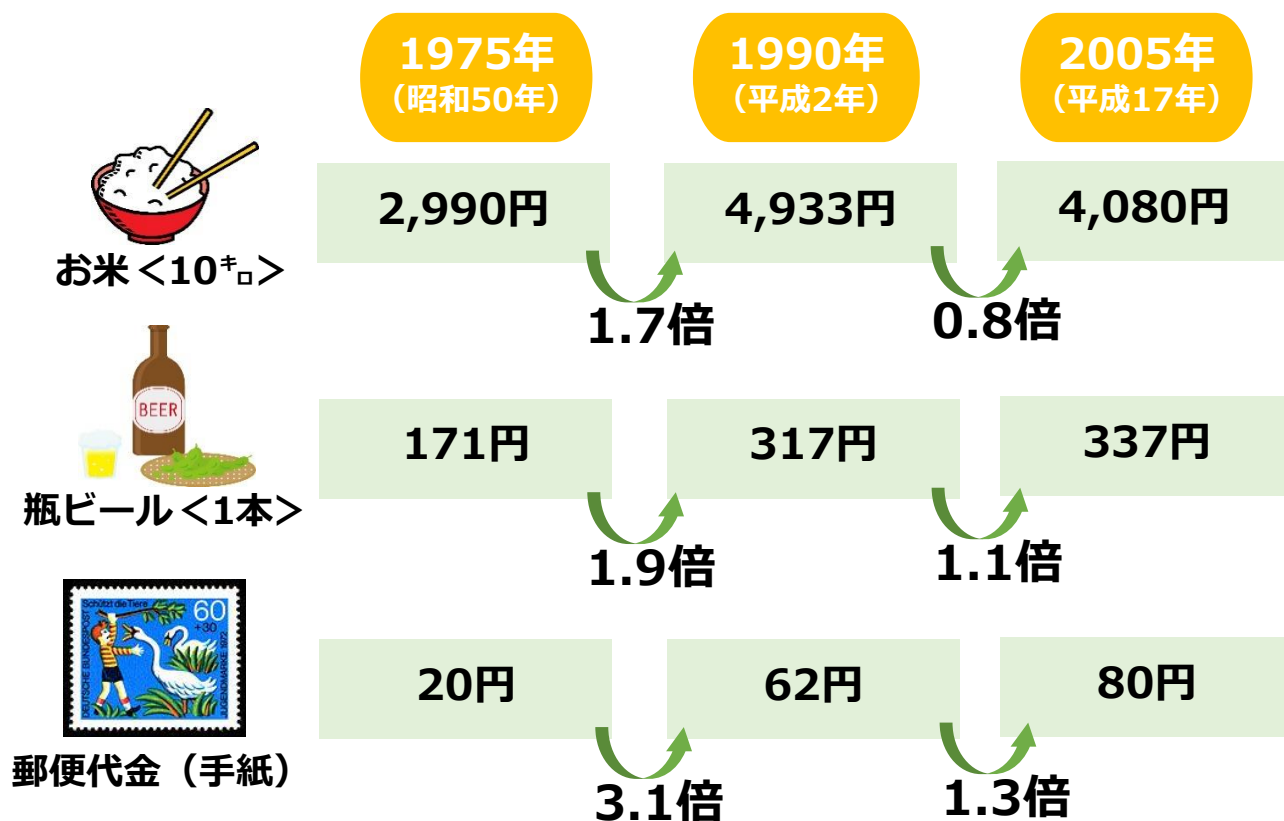
さて、ここからは投資の有効性について見ていきましょう。
まずはインフレの復習からです。

モノやサービスの価格(物価)が上がっていくことをインフレといいます。
高度経済成長時代は物価がどんどん値上がりをしていました。

2000年以降はデフレといって、逆に物価が値下がりする現象が続いていたため、上記のお米のように値段が下がったものもありましたが、その他のサービスなどは値上がり、つまりインフレが続いています。

インフレは、お金の実質的な価値の目減りを意味しています。これを防ぐには、モノの値上がり以上の金利を得る必要がありますが、4ページで見たように、日本では長らく低金利状態が続いています。

■モノ・サービスの値段<昔と今>



(出所) 国民生活白書(平成19年版)よりコモンズ投信作成

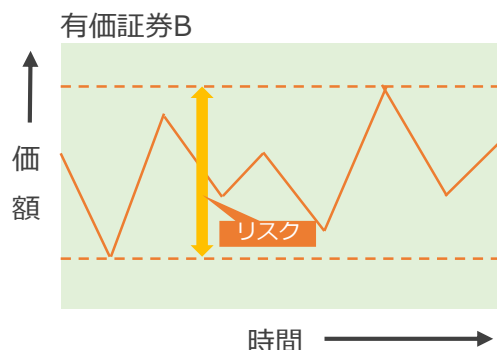
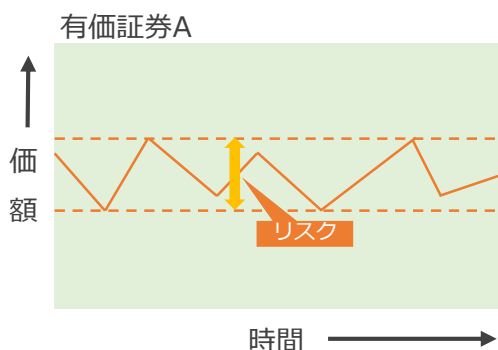
○ 金融商品のリスクとリターン

インフレに強いといわれる金融商品を保有した場合はどうでしょうか？

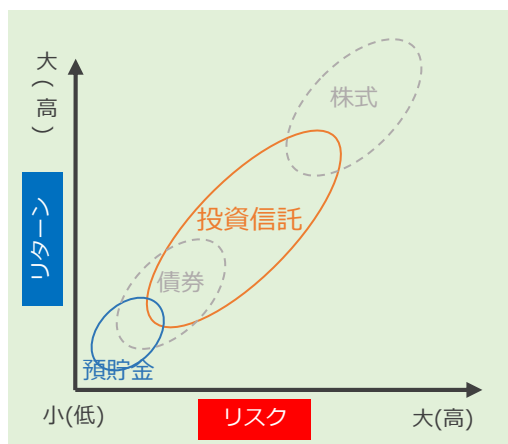
金融商品には必ず、「リスク」と「リターン」があります。リターンとは投資を行うことで得られる収益のことです。そしてリスクとは「結果が不確実であること」を意味します。具体的には、リターン(収益)の振れ幅のことを指します。

ここで、下記の図をご覧ください。図は、有価証券Aと有価証券Bの価格の変動を示していますが、有価証券Aに比べると、有価証券Bの方が価格の変動の幅が大きいということがわかるかと思います。この場合、有価証券Bの方が「リスクが大きい」といえます。

■ リスクの比較



■ リスクとリターンの関係



リスクとリターンの関係は、表裏一体の関係といえます。「リスクが大きなものほどリターンが大きい(ハイリスク・ハイリターン)」「リスクが小さいものほどリターンが小さい(ローリスク・ローリターン)」という傾向があります。つまり、大きな収益を期待すると、リスクが大きくなり、逆に大きな損失の可能性も増す、ということです。

◎投資信託は、商品によって投資する対象がさまざまですから、投資信託のリスクやリターンの大きさもさまざまです。

○ リスクの軽減方法は？

高いリターンを求めるとき、「リスク」は避けられませんが、軽減する方法は主に2つあります。

一つは、「**資産の分散**」、そしてもう一つは「**時間の分散**」です。

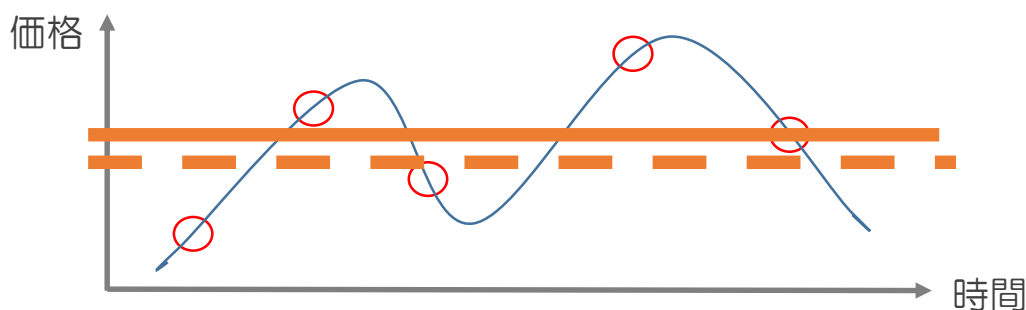
「**資産の分散**」は異なる動きをする資産を組み合わせることで、資産全体のブレを小さくする方法です。

株式相場の格言で投資銘柄を卵に例えて「卵は一つのかごに盛るな」というものがあります。卵を一つのかごに盛るとそのかごを落とした場合にすべての卵が割れてしまうけれど、卵を別々のかごに盛っていれば、そのうちの一つのかごを落としてしまってもすべての卵が割れてしまうことはありません。



「**時間の分散**」は、値動きのある資産に対して、定期的に一定額ずつ投資をすることで、値段が高いときには少ない量を、値段が低いときには少ない量を買うことで、平均購入単価を低く抑えることができる方法です。この投資の手法をドルコスト平均法といいます。

■ つみたて投資の効果（ドルコスト平均法）



買付価格	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	合計 株数	平均購入単価
	700円	1100円	900円	1300円	1000円		
毎月10株	10株	10株	10株	10株	10株	50株	1000円
	7000円	11000円	9000円	13000円	10000円	5万円	
毎月1万円	14.3株	9.1株	11.1株	7.7株	10株	52.2株	958.2円
	1万円	1万円	1万円	1万円	1万円	5万円	

*ドルコスト平均法は、時間が買えることが一番大きな効果。

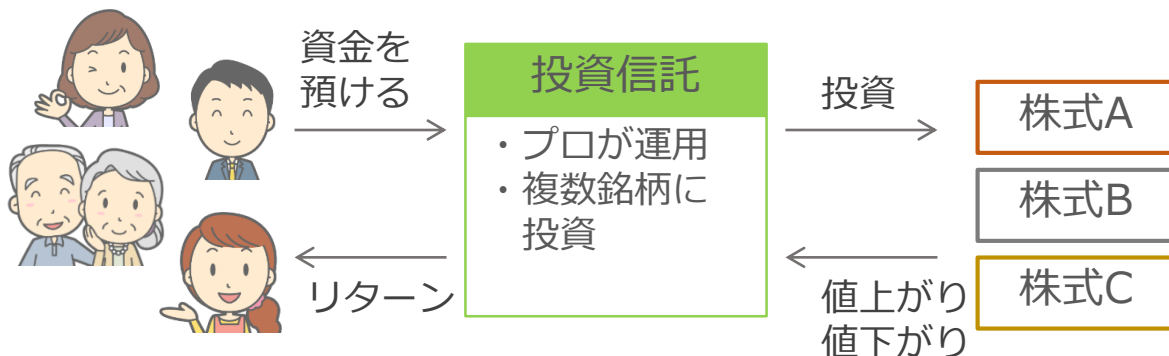
○ 投資信託(ファンド)とは？

投資は「分散」して、「時間を味方につける」ことができれば、決して怖いものではありません。

しかし、自分自身で投資先を決めるのは難しい、と感じる方も多いのではないのでしょうか。

■ 株式投資信託の仕組み

投資信託とは投資家から集めた資金を一つの大きな資金としてまとめて運用会社が運用し、その成果を投資家に分配する仕組みです。



投資信託のメリットは・・・

小額資金で投資することができる

小口のお金を集めてひとつの大きな資金として運用するので数千円から気軽にはじめることができます。

分散投資することができる

投資する対象を複数の銘柄に分散投資することでリスク軽減を図っています。

専門家に運用を任せられる

個人が世界の経済情勢や株式・債券投資などに必要な知識やノウハウを身につけること、そして刻々と変わっていく状況をキャッチアップしていくことは難しいです。投資信託なら運用をプロに任せることができます。

透明性が高い

投資信託の基準価額は新聞やインターネットに掲載されています。運用レポートも発行され、報告会などを開催するものもあります。

○ つみたてシュミレーション

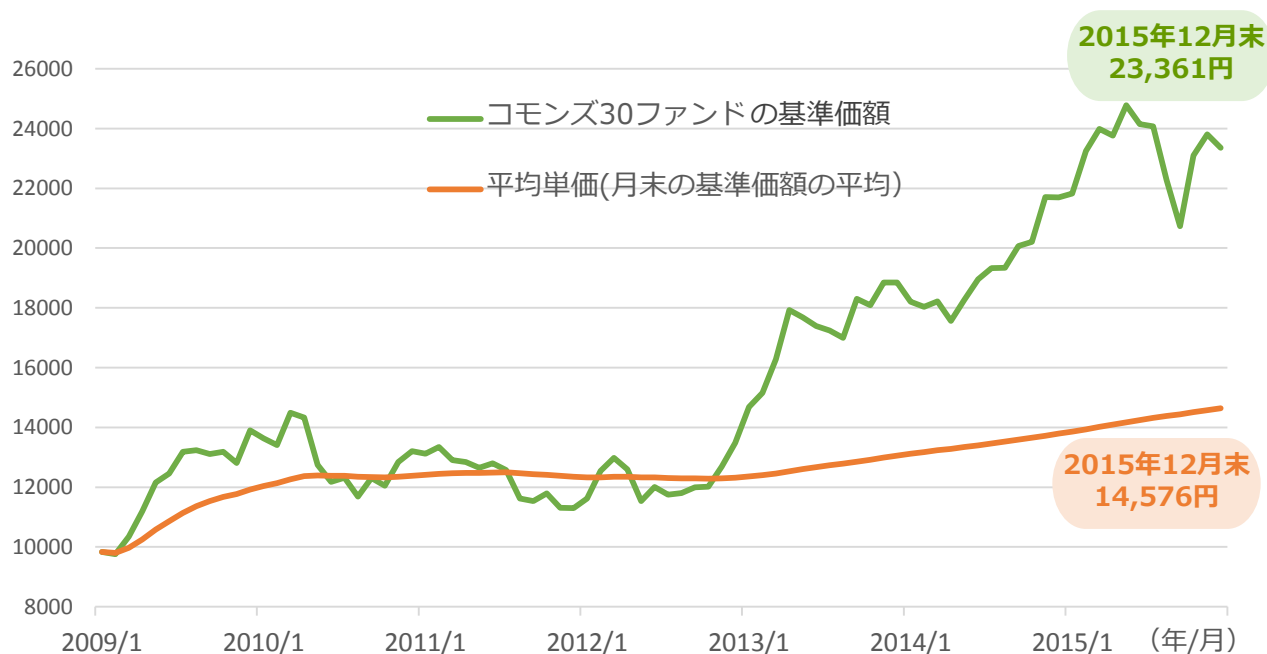
投資先の選定をプロに任せた上で、時間分散を実践する方法として、投資信託のつみたて投資の例を具体例で見てみましょう。

例えば私たちが運用しているファンドを活用して2009年1月から毎月1万円積み立てを行った場合、2015年12月時点の平均単価は14,576円、それに対し、実際の値段(基準価額)が23,361円であり、その差分が含み益となっています。

長く積立を続けることで、平均保有単価が平準化されます。

投資している資産が値下がりしている局面でもコツコツ買い続けることで平均単価を引き下げる効果があり、相場の上がり下がりに一喜一憂しない投資が可能になります。

■ コモンズ30ファンド積立シュミレーション（毎月末に1万円ずつ）



	2009/1	2010/1	2011/1	2012/1	2013/1	2014/1	2015/1	2015/12
累計投資額	10,000	130,000	250,000	370,000	490,000	610,000	730,000	840,000
平均単価	9,832	12,043	12,413	12,327	12,358	13,118	13,864	14,576.5
評価額	10,000	189,091	189,091	348,867	582,076	846,418	1,149,269	1,340,202
評価損益	0	59,091	-60,909	-21,133	92,076	236,418	419,269	500,202

(2015年12月30日時点)

○資産運用ははじめの一步

最後に皆さんに、今まで話してきたことのまとめとこれからの資産作りに大切な心構えを伝授しましょう。

■人生において必要な資産作りは、コツコツ、つみたてが大事です。

人生にかかるお金は、大きく分けて、住宅・教育・老後の3つがあり、それぞれそれなりの資金が必要となります。一方、私たちを取り巻く環境は、給与の伸びが鈍化していることや預金などから得られる利息収入がほとんど見込みにくいなど、収入を増やす方法は限られています。

一方、毎月コツコツお金を貯めることで着実な資産を形成できます。まずはこうした着実な方法を早くから実践することが大切です。

しかし、預金などから得られる利息がほとんど期待できない今、コツコツ貯めるだけでは限界があります。なぜなら、インフレリスクといって、モノの値段が上がっていくと、それに見合う金利収入がなければ、実質的なお金の価値が目減りしてしまうからです。

では、インフレに強いといわれる株などの金融商品を保有した場合はどうなるでしょうか？保有している間の資産のブレはありますが、平均的に高いリターンを生むことが期待できます。

それなりのリターンを得るためには、リスク（＝資産のブレ）も仕方ない、しかし、ブレがある商品を保有するのはやっぱり怖い、というのが本音ではないでしょうか。資産のブレを小さくする方法は2つあります。1つは、異なる動きをする商品を組合わせて資産全体のブレを小さくする「資産分散」。もう一つは、一つの商品でも一度にまとめて買わず、何度かに分けて買う「時間分散」です。

時間分散の例として、「つみたて投資」をご紹介しました。毎月、決まった日に一定額ずつ投資する方法で、価格が変動するものに一定額ずつ投資しますので、値段が高いときには少ない口数を、値段が安いときには多くの口数を買い付けていくことになり、結果として平均単価を平準化（＝ブレを小さく）する効果があります。

無理のない金額で、まずは数千円からからでも、預貯金と並行して投資を始めてみましょう。

「習うより慣れろ」で、自分のリスク許容度を知ることが大切です！



もう一つ大切なことをお伝えします。

■いい商品を探すことに集中しましょう

「いい商品」とは単に運用成績がよい、ということだけではなく、長期でつみたてを続けていくのにふさわしい商品という意味です。

先に結論を言ってしまうと、何千本もある日本の投資信託の中で、長期でつみたてを続けていくのにふさわしい「いい商品」は、実はあまり多くありません。

投資信託は、多くの投資家から集めたお金をプロがまとめて運用することで、一人ひとりの拠出額は小さくても、大きな資金で運用したのと同じ効果が得られるというメリットがある商品です。しかし、短期的にその投資信託に資金が入りすぎてしまったり、逆に一気に解約が出てその投資信託から資金が流出してしまうと、運用に影響が出て、投資信託の本来の良さが発揮できません。

日本の投資信託の平均保有年数は1.7年です。これは、今投信を持っている人が平均で1.7年後には次の投資信託に乗り換えるということです。その度に投資信託側では資金の大流入と大流出が起きているといえます。これではいい運用はできません。資金流出が続けば、場合によっては償還(運用が終了すること)されてしまうこともあります。

継続的に資金が入り続けている投資信託が日本にどれくらいあるのかを調べてみると、1年以上資金が入り続けている投資信託は、全体の約4.6%、2年以上資金が入り続けている投資信託は、1%もありません。

寿命の短い商品は、コツコツ長い時間をかけて資産作りをしたい人にとっては不向きと言えます。長期的な資産形成には、その時々売れ筋、といったベストセラーではなく、ロングセラーの商品から、自分に合ったものを選ぶことが大切なのです。

投資信託を選ぶときは運用成績のほかに、資金流入が続いているロングセラー商品かどうかにも着目しましょう！

本資料は私たちが開催するはじめての方向けセミナー1回分の内容を短くまとめたものです。皆さんが未来への資産づくりをはじめのきっかけになればうれしく思います。いつかどこかでお会いできるのを楽しみにしています！



コモンズ投信とは

「未来志向の日本人が全国から、長期投資を通じて最良な企業と出会う場を提供すれば、持続的な価値創造が可能になる」、そんな熱い想いを持ったメンバーが集まってできた独立系の投信会社です。

こんな会社です

- ◎ 長期的な資産づくりに関心がある皆さんとの出会いを楽しみにしています
- ◎ 投資の世界の「見える化」に努め、よい企業と対話して応援します
- ◎ 様々な経験を持つメンバーで今日よりもよい明日を目指します

トップメッセージ

株式の長期投資は「株価」を追いかけるのではなく、「企業」の本質的な価値に投資をする運用スタイルです。長期的な資産形成を目指す生活者は、投資信託というチケットを通じて世の中の持続的な経済成長を受け取る機会を手に入れることが可能となります。コモンズ投信では、将来の生活が不安な方々には「年金サプリメント」として、また、こどもたちの未来を期待する方々には「愛のメッセージ」として、長期投資を提案しています。

資産形成を始めるのに大きな資金は不要です。必要なのは、今日からでもちょっと動いてみようという“心のスイッチ”を入れることです。毎月の積立てなども利用して長期投資に踏み出しましょう！今日よりもよい明日を目指して、未来を切り拓く皆さまをコモンズ投信は応援しています。

今日よりもよい明日のために。
Share the Vision !



取締役会長
渋澤 健
Ken Shibusawa



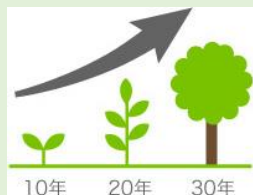
代表取締役社長 & CIO
伊井 哲朗
Tetsuro Ii

コモンズ30ファンド

環境に応じて進化できる強い企業への長期投資

ファンドの特長

ゆっくりしっかり育む 長期投資



30年は一世代の象徴です。企業の本質的な価値は世代を超える長期的な目線で見てくるものです。

真のグローバル企業を 中心に30銘柄へ集中投資



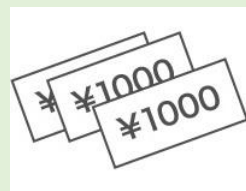
30社程度の進化を続ける優良企業に集中投資することで投資先の「見える化」と運用効果の向上に努めます。

「対話」する投資で価値 の創造と楽しさを提供



投資先企業の「見える化」とつながりを促し、新しい価値創造に参加する交流タイプのセミナーなど積極的に取り組んでいます。

月3,000円から、 思い立ったらスタート！



毎月ゆっくりと購入する「つみたてプラン」は3000円から可能。初めての方でも投資を気軽に始められ、しっかりと続けられます。

コモンズ30ファンドの推移 (2009/1/19～2015/12/30)



ザ・2020ビジョン

変化を見据えるダイナミックな運用

ファンドの特長

キーワードは “変化”

業績は急上昇しつつあるが、
株価は割安なステージ！



“変化を始めた企業”、
“変化にチャレンジする
企業”を中心に株価が割
安と判断した水準で投
資します。

50銘柄程度に 厳選投資



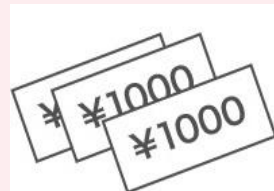
大型株から小型株まで
投資対象とし、50銘柄
程度に投資します。50
銘柄程度あれば、分散
効果も十分得られます。
※1

リスク回避のタイミン グをコントロール



市場の下落リスクなど
に基づき、株式の組入
れや現金等の比率を調
整。リスクを回避する
タイミングのコント
ロールを目指します。
※2

月3,000円から、 思い立ったらスタート！



毎月ゆっくりと購入す
る「つみたてプラン」
は3000円から可能。
初めての方でも投資を
気軽に始められ、しっ
かりと続けられます。

※1ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

※2株式への投資は、信託財産の50%超（100～30%の範囲内を）が基本です。

ザ・2020ビジョンの推移 (2013/12/27～2015/12/30)



(出所)コモンズ投信

よくあるご質問

Q. 元本保証はしてもらえますか？

A. 元本保証はありません。コモンズ30ファンドは値動きのある株式等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、元本保証はされず、基準価額の下落により損失を破り、投資元本を割り込む可能性があります。

Q. 投資信託って自分で色々調べなくてははいけませんか？

A. 投資信託は、運用をプロに任せることができますので、株式投資のようにご自分で投資先を選んだり売買のタイミングを見計らう必要はありません。

Q. 毎月の投資額はどのように決めたらいいですか？

A. 月収の1割程度が良いとされていますが、お電話や、セミナー等でお気軽にご相談ください。

Q. 自分のお金が今どうなっているか、定期的に知ることはできますか？

A. 無料のWebサービス「MYコモンズ」で、評価金額、保有口数、評価損益等をご確認いただけます。運用状況に関しては月次のレポート（コモンズレター）でお知らせいたします。

コモンズ30ファンド、ザ・2020ビジョンの費用について（共通）

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金時手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により低減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料（費用）等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンド、ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。
※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

本資料は、コモンズ投信株式会社の会社概要と基本理念・運用哲学等について、投資家のみなさまに参考となる情報の提供を目的として作成したものです。特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではなく、投資信託への投資にあたっては必ず当該商品の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

- 会社名 : コモンズ投信株式会社
- (英文名 Commons Asset Management, Inc.)
- 所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町Kビル5階 Tel:03-3221-9230
- 資本金 : 13億6,188万2500円（資本準備金含む）
- 役員 :
 - 代表取締役社長 伊井哲朗
 - 取締役会長 渋澤健
- 設立年月日 : 2007年11月6日
- 業務内容 : 金融商品取引業者（投資運用業・第二種金融商品取引業）
- 登録番号 : 関東財務局長（金商） 第2061号